

## 【茨P連 子育てネットワーク委員会（第3回）レポート】

茨P連 子育てネットワーク委員長 美間久美

- 1 開催日 令和4年12月20日（火）10:00～12:00
- 2 参加者 茨P連会長、子ネット委員長、副委員長 9名  
茨城県教育庁生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室  
赤津社会教育主事、茨P連事務局長（計：11名）
- 3 形式 リアルミーティング
- 4 内容



### (1) 挨拶

#### 畠山会長

- 振興大会、表彰式等の活動へのご協力、ありがとうございます。
- 昨日出席した学校教育懇談会でも、学校での児童の問題は家庭教育力の低下に起因するケースも少なからずあるとの指摘がありました。茨P連でも家庭教育力向上のための子ネット委員会の役割は非常に大きい。

#### 美間委員長

- 会議や研修に参加するからには『何か一つは学んで帰ろう』と思い、参加すると、必ず学びはある。まずは、参加する際の心の持ちようが大切です。何事も自分事として物事を捉えることで学びが深まります。
- 県西研修会での子ネットの説明が非常にわかりやすかった。研修に参加してくれた保護者の方々もコロナ禍でなかなか相談できなかったが、研修会で子育ての悩みを話すことができ、悩みを抱えているのは自分だけでなく、ほっとした等の意見もありました。
- 今日はこれからの子ネットの規定やあり方について話し合いたい。

#### 添野顧問

- 意見を出し合うことで有意義な会議になる。



### (2) 各地区の情報共有

- 中央 ・10月26日子ネット研修を実施、「『家庭・学校・地域』どの様に子供を応援していますか」をテーマとして、グループディスカッションを実施。（登校見守り、コミュニケーション等）  
・12月13日第3回委員会を実施し、各地区の報告・反省などを行いました。
- 県北 ・10月30日指導者研修会および子ネット研修会実施（テーマ：『ヤングケアラー』）  
・11月31日第3回子育てネットワーク委員会を実施。  
『弁当の日』⇒『スマイルハッピーデー』へ名称変更、内容は全部変えるのではなく、食だけに限定せず、広く考えて、企画をしていくことに決定。
- 県東 ・11月12日指導者研修会と併せて、分科会にて子ネット研修会を実施。  
農家の飯田講師を招き、講義後に、ディスカッションをし、大変好評であった。  
農業体験や流通の仕組みなど、子どもたちが知識だけでなく、体験で学ぶことは非常に有意義だという意見が出た。  
・2月に委員会及び研修会を実施予定。
- 県南 ・2月に各市町村の活動発表、次年度地区テーマの協議を予定。  
県・県南から単Pまで情報を伝達していくために市町村P会長との会議を企画している。
- 県西 ・12月11日子ネット研修会を実施、『思春期の子どもとの関り方』について、安のりこさんの講義後、ディスカッションを実施した。  
以前、単P委員さんから、子ネットの趣旨・目的や実施内容などを知りたい

という話があったので、今回の研修会で、子ネットの母親委員会からの経緯や活動内容などをパワーポイントにて説明した。

よかった点は、ディスカッションである。同じ悩みを抱える人と話ができ、更には講師からアドバイスを頂き、好評であった。

『まずは子どもの気持ちを受け入れること』が大切である。

・2月には1年の活動内容の報告、冊子づくりを行う。

### (3) 県および関係団体の会議等への参加報告

- 県表彰式典報告 来場した価値を感じてもらうために、写真撮影スポットを設置した。  
LINEで自分の番号の写真をダウンロードできる新しい取り組みを実施した。
- 学校給食用製品開発選定委員会の報告 栄養分はじめ、素材の大きさや食感など細部までこだわって話し合いを行われた。実際に試食をして、活発な意見交換がされた。

### (4) 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 赤津社会教育主事よりアンケート結果からの課題

- アンケート結果は、次年度の施策に役立てていただくために、市町村教育委員会生涯学習課に提供しました。
- 子育てエピソードをもとにマンガを3本作成中、1本ホームページに掲載済み。
- アンケート結果についての意見交換
  - ・『悩みを相談したくてもできない人への支援策』  
現在、訪問支援員による訪問型の家庭支援、家庭教育応援ナビでの情報提供孤立しがちな方への手立てを模索している。  
⇒先生と保護者、保護者同士などが会う機会が減ると、ますます孤立してしまう。  
小学校入学時の登校班での会話も孤立防止には役立っていた。
  - ・『県として参加しやすい子育て企画をつくりたい。何かを楽しむ機会に学びの場を添える。』  
今後は家庭支援室としてはお父さん向けに子育てを考える場をつくりたい。  
そのためには、気軽に参加できる工場見学やスポーツ観戦などを企画して、バスの中で、子育ての話ができる時間を取ると、気軽に話ができるのでよい。子どもとお父さんが参加できる企画もよい。
- 見えてきた課題
  - ・『父親の乳幼児期の子育て』
  - ・『保護者同士の横のつながりづくり』  
孤立してしまう保護者対応  
「こんにちは」から「こんにちは ○○君どう？」  
というコミュニケーションを図れる関係にする。
  - ・『不安や悩みの相談先について』  
継続的に情報発信
  - ・『家庭教育応援ナビの普及』  
リーフレットを配布してもなかなか見てもらえない状況である。できれば、小学校などの入学前の研修会などで説明し、その場で、QRコードを表示し、ホームページを見もらうほうが普及しやすい。



○家庭教育応援ナビは下記アドレスまたは右側のQRコードからアクセスできます。

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/index.html>



家庭教育応援ナビ

(5) 茨城県教職員組合女性部との懇談会の実施

- ・日時：令和5年2月25日（土）13:00～
- ・場所：茨城県教育会館
- ・テーマ：「（仮）不登校について」



(6) 令和5年度子育てネットワーク委員会研修会について

- ・日時：令和5年7月1日（土）開演13時30分～終演16時30分（予定）
  - ・会場：ひたちなか市文化会館小ホール 定員300名
  - ・備考：駐車場500台
- 研修会はディスカッションを入れる。  
講師については1月中に案を出し合い、次回2月25日委員会にて決定。

(7) 子育てネットワーク委員会の名称変更による規定改定

○県の細則

○地区委員会規程

以下の通り進める。

- ①県の細則を示す。
- ②細則各条文に（見出し）をつける。
- ③地区の規程をサンプルで示す。
- ④母親⇒『保護者』に変更
- ⑤各地区の規程（規約）の目的を、県の細則に合わせる。

目的を明確化するために、「保護者の立場」・「家庭教育力の向上」等を追記する。

→1月7日（土）第5回役員会に提示し、手続き等の承認を受ける予定。

（地区事務局にも1/7には説明・配付予定です。）

(8) 次回委員会の予定

- ・日時：令和5年2月25日（土）10:00～12:00
- ・場所：茨城県教育会館

以上